京城日報
一月二十三日（金）夕刊
編輯兼發行人 見島吉治 印刷人 小川三之介
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社

果然、議會解散に決定
けふの臨時閣議で
あす詔書公布を奏請

【東京至急報】政府は廿二日午前十一時三十分首相官邸に於て臨時閣議を開き、局面轉換方策に關して協議の結果、時局に鑑みて衆議院の解散を行ふよりほか途なしとの意見に一致し、廿三日議會解散詔書公布を奏請することに決定した（寫眞は廣田首相）

協力を拒否する限り
解散以外に途なし
陸軍首腦協議で一決

【東京電話】寺內陸相は二十二日午前九時陸相官邸に陸軍首腦を招き、政黨側の反軍的態度に對する陸軍の態度を協議した。[illegible]陸軍としては政黨が飽まで時局の認識を缺き軍の攻擊に終始して庶政一新への協力を拒否する限り議會解散以外に途なしといふに一決し、陸相は直ちに閑院參謀總長宮邸に伺候、閑院參謀總長宮殿下に謁を賜はり右につきその強硬な決意を言上、退出した寺內陸相がその決意を參謀總長宮殿下に言上したことは、陸軍首腦部の不退轉の決意の決定的なるを表明するもので、寺內陸相としては若し閣議において主張が貫徹されなかつたならば單獨で辭職を斷行する重大決意を固めてゐるものと見られ、軍部のこの強硬な決意は時局に容易ならぬ波瀾を與へるものとして注目される

寫眞、上寺內陸相、下は梅津陸軍次官

重大閣議

【東京電話】解散斷行か總辭職か廣田內閣の運命を賭する緊急重大閣議は二十二日午前十時十五分首相官邸に入つた潮內相を先頭に同十時二十分林法相、同二十三分頃の入寺內陸相が首相官邸に姿を現し、その他の閣僚も續々參集、同四十分廣田首相を殿りに全閣僚の顏が揃つたので、直ちに閣議を開いて當面せる重大時局の善後措置に關して重大協議を進めた

宮中御講書始の御儀行はせらる

【東京電話】宮中御講書始めの御儀は二十二日午前十時より天皇、皇后兩陛下鳳凰間に出御、いと嚴かに行はせられた

[illegible]

總選擧等につき
內務首腦部協議

【東京電話】潮內相は二十二日午前九時二十分登廳、湯澤兩次官、早川警保局長、大村地方兩局長、[illegible]警視總監等內務首腦部を內相官邸に招致し、政府が萬一議會解散を斷行した場合に處する總選擧、その他政局不安に伴ふ治安維持方策等に關し萬全を期すべく協議打合せを遂げ、內務省としての態度を決定しその結果を齎し潮內相は臨時閣議に臨んだ

既成政黨と共に庶政一新の
斷行を期し得ず
現狀維持と現狀打破の相剋
陸軍當局が所信明示

【東京電話】第七十議會の停會に關し陸軍當局は二十一日深更非公式に左の如くその所信を明示した

本日の議會における空氣及び言論より既成政黨の現狀を見るに從來と同樣何ら己を省ることなく徒らに他のみを責むるに專念してゐるが、かかる政黨と共に庶政一新の斷行を期することは全然不可能である、しかも既成政黨に何らかの成案ありて現在進行しつゝある庶政一新に反對するならばまだ許し得ないことでもないが口に庶政一新を唱ふると雖も二・二六事件後の澎湃たる革新氣運を沒却して[illegible]

緊張した閣議
寺內陸相は暗に自己の
進退問題にまで觸れる

【東京電話】議會再開劈頭重大局面に逢着した政府は、二十一日衆議院本會議散會後午後六時半より院內に臨時緊急閣議を開き先づ寺內陸相より

『本日の衆議院における論議を見るに現內閣に二名宛の閣僚を送つて與黨的立場にある政黨が極めて反政府的態度を示してをり、到底この狀態を以てしては今議會を圓滑に終了することは出來ない故、政府としても重大決意をしなければならぬ』

と强硬主張を述べ即時解散論を唱へ廣田首相始め各閣僚の決意を促した、これに對して前田、島田、賴母木、小川の黨出身閣僚は議會における論議が多少反政府的といふも未だ現內閣不信任といふのではない、從つて議會を解散するといふ筋は立たない、政府は先づ豫算案通過に大なる努力を拂ふべきである

と述べ陸相の即時解散論に反對し斯くて閣議は緊張を呈した、寺內陸相は暗に自己の進退問題にまで觸れ强硬主張を枉げず、閣議は容易に結論に到達せず、この間馬場藏相、永田拓相よりも種々妥協意見が出た結果閣議は實に三時間にして漸く『議會の反省を促す』との名目の下に二十二日より二日間の停會を奏請することに意見一致し首相は同九時十五分閣議中にして參內上奏御裁可を經て同十時十分再び院內に引返し閣議を續行停會の詔書公布の手續きを完了四十五分散會した

政友は分解か
今後の成行は注目

【東京電話】政府が二十一日の院內臨時閣議に於て二日間の停會を決定奏請したについて、政友會では左の如き觀測を行ひ政府は結局總辭職の已むなきに至るであらうと見てゐる

政府が二日間の停會を行つた理由は『議會の言論に鑑み』と云ふにあるが、之は必ずしも濱田氏一人の發言が理由でなく議會全般の空氣が反政府的なことにとはないよ。

解散の場合の
諒解を求む
農相鈴木總裁を訪問

【東京電話】島田農相は二十二日午前九時九段の私邸に鈴木總裁を訪問、目下の重大政局につき說明を行ひ

閣內に解散論が頻りに行はれてゐるので、場合によつては已むを得ずそれに贊成するかもわからないから事情を諒とされたい

と語へ、之に對して鈴木總裁は

政策の衝突なしに解散を行ふは非立憲的なる處置である、なほ閣內にあつて解散論阻止に努められたい

と要望、農相は

いづれ態度を決するに先だち指揮を仰ぐことにしたい

旨述べ同九時二十分辭去した

わしは飽迄闘ふよ
濱田國松氏の氣焰

【東京電話】烈々たる氣魄を以て寺內陸相と取組んで政府をして議會停會奏請の已むなき窮地に落し込んだ政友會の闘將濱田國松氏はこの議會が終ると政友連の鼠のやうな蠢動を潜り拔けるやうに法相官邸での法相招待の晚餐會に出席して午後八時頃牛込區中町十八の自宅に歸つた、大島紬の和服に着替へて卒當の濱田氏に會つた、長野縣小野議會議長や政友會長野支部の連中が『今日は先生の演說を拜聽して感激興起、一死報國皇國の振興を期せんとす』と云つた激勵狀に血判を持參して謹上げる、電話がひつきりなしに元氣づける電話がかゝつて來る『議會二日間停會の號外』を讀みながら七十歲とは見えぬ元氣で[illegible]氣焰を上げる

議會がさはくては政治は出來ぬ、わしは恐ろしくない、然し今日の議會は何と云ふ醜態だ、昨日の大臣の演說に拍手がなかつたではないか、政黨を蔑視する政府に人氣のないのは當然だよ、わしは今日寺內さんに謝るべき道を言つただけだ、それにあわてて停會すると云ふ政府の腰の弱さは見つともないではないか、解散か內閣總辭職かどつちか知らぬがわしはあくまで闘ふよ

風邪で三十八度の熱があるとは思へぬ氣焰を揚げるばかり、就寢したのが十二時、[illegible]

政府は總辭職をして
責任を明かにせよ
社大黨聲明書を發表

【東京電話】社會大衆黨は二十一日深更麻生代議士[illegible]代議士七名に緊急代議士會を開き、議會停會に對する今後の方針に關し協議を重ねた結果、左記聲明書を發表した

聲明書

議會は本日深更突如停會を命ぜられ政局の混亂を惹起し、重大時局に際し國民の鬱憤を感はしめんとしてゐる、元來解散に當つては政黨の出所進退明確ならす軍部出身閣僚をして愈め閣內に於て闘ひなさしめずして議會に於て遂に軍部との對立を暴露するに至つたからである、民政兩黨は宜しく閣僚を引揚げ所信のため闘ふべし、廣田內閣は無力無能にして國民生活を益々不安定ならしめたものである、吾等は既に之を表明し來つた、須く政府は即時總辭職して責任を明かにすべし

右聲明す

原田熊雄男
西公に報告

【東京電話】西園寺公秘書原田熊雄男は二十二日午前九時東京驛發列車に興津に赴き、兩院の空氣並に政府の停會詔書奏請事情等を西園寺公に報告した

甚くものであると考へられる、政府は黨出身閣僚を通じて何等かの諒解を求めて來るとしても直ちに之に應ずることは出來ない、濱田氏の發言は當然のことと思ふ、この濱田氏の言に依り政府は既に總辭職を決意し政局收拾のために二日間の停會を行ひ、二十二日の臨時閣議に於て直ちにその手段を講ずるのではないかと思はれる節がある、又この二日間に政局を收拾し得ねば再び停會すると云ふ方法も考へられる

何れにしても總辭職は免れぬだらうとしてゐる、黨としては二十二日午前十一時院內に代議士會を開き對策を協議することとなつてゐるが、同黨首腦部は之に先立つて幹部會を開き今後の問題について協議を行ふ豫定で、この際黨內の情勢は政友會一致の行動を執り得[illegible]

前田鐵相が
苦衷を述ぶ

【東京電話】政友會の安藤幹事長は二十二日午前九時電話を以て前田鐵相と次の如き重要意見の交換を行つた、まづ安藤幹事長は黨を代表して

政友會の主張は去る二十日の黨大會における總裁の指示演說及び黨の宣言に明示された通りであつて、議會停會によつて何ら變更する理由はない

と黨の强硬方針を力說したのち

政府部內にはこの際議會を解散すべしとの意見があると傳へられるが、格別政策の衝突もない今日の情勢において解散を行ふ理由は全然ないと思ふ、政府が議會を乘切ることが出來なければ總辭職を斷行することが當然であり、立憲的な手段ではないか

と述べたるに對し、前田鐵相は

黨の主張は尤もであるが閣內には解散論が頗る有力であり殊に軍部が强硬に主張して居るから場合によつては總辭職論で突張る譯には行かぬこととなる、依つて解散に贊成することになるかも知れぬからその場合には事情を諒解されたい、島田農相と自分とは同じ立場にあるものと思ふ

と裏情を吐露したるに對し、安藤幹事長は

政友會としては總務會引續き代議士大會、幹部會を開いて黨議を決することになつてゐるから何れその席上で貴下の苦衷を傳へすることとしたい、然し黨出身閣僚として進退を決する場合には總裁の指示を仰がねばならぬのであるから、閣議で解散なり總辭職なりを決するに先立つて黨と緊密な連絡を保たれたい

と希望した

解散は閣議で
反對されたい
安藤政友會幹事長が
前田島田兩相に報告

【東京電話】政友會は二十二日の總務會で大體の方針を決定したので、安藤幹事長は前田、島田兩相に同十時電話を以て左の如く報告し、前田、島田兩相も大體之を諒承したが前田氏は閣議決定前連絡を取り得ない場合は黨に於ても諒承されたき旨述べた

政友會としては議事をこの儘進めて行くべしと云ふ意見であつて解散の如きは非立憲極まる故閣議で反對されたい、而してこの儘議事を進めて見て若し議事進行が出來なければその時こそ政府として考慮すべきである、故に閣議で最後的決定を見るに先立ち幹事長と連絡を執られたい

民生活の安定などの重要問題の解決に邁進せんとすることは、將しく庶政一新の初步であると共に既成政黨唯一の更生の途ではないか、之を要するに現下の情勢は現狀維持と現狀打破の相剋であり現狀打破の勝利即ち庶政一新の勝利である、而して既成政黨にして之の現實の勝利を正しく把握せずとせば既成政黨の離合分散も有り得ると觀じなければならない

千萬國民の批判は直ちに之を解決するであらう、從來の如く黨利黨略を專一として國利民福を省ない既成政黨は、今や正しき審判の下において完全にその存在價値を自ら放棄することを知らねばならない、憲法に恪循した眞の議會政治を實現し、而してその議會政治の立場を正しく認識してまづ第一に國體の明徵國防の充實、產業の振興、國

海軍局部長協議

【東京電話】永野海相は二十二日午前九時半島田軍令部次長を省內大臣室に招き議會停會の經緯と政府部內の意向を述べて約一時間に亘り會見、海軍側の態度方針に關し重要會談を遂げた上閣議に臨んだが、海軍では事態の重大性に鑑み午前十時半より大臣室に部局長會議を開催、山本次官、及川航空本部長、上田艦政本部長、豐田軍務、村上經理、氏家軍醫、湖見法務など各局部長出席、先づ山本次官、豐田軍務局長より議會停會に至るまでの經緯を詳細に說明し政府部內の意向を傳へ種々協議するところあつた

半島林利增進
來月營林署長會議開催

さきに開催された朝鮮產業經濟調查會によつて答申された重要案件の一たる林利の增進に就いては總督の指示により營林局では來る二月十六日から八日間各營林署長會議を開催した上、南總督の五大政策の一、治山治水を眼目とする國有林の整備は勿論、軍用林の開發、パルプ原料、造船用材の開發、稚林の生育等の問題に就いて具體的意見を徵すると共に營林事務の刷新、職員の向上、訓練、營林署の連絡を行ふことゝなつた

るや頗る疑問とされ、同日の代議士會は相當紛糾すべく或は之を契機として政友會の分解作用を招來するのではないかと見られ、今後の成行きは頗る注目されてゐる

一人一話
溫泉避行
◇……矢鍋永三郎

丟十年ほど、私は正月の元日を自宅で迎へた後は、決つてその日の夜十時五分の汽車で何處かの溫泉場に避行してゐます、妙なもので、其間、汽車のダイヤが何遍か變更されたことでせうが、十時五分の汽車だけはある樣です、今年は海雲台で至極靜かな正月を送りましたよ、どうも私は酒を飲むと至極陽氣になる方なので、相當酒飲のやうに考へてゐる人もありますが酒は絕對に嗜なのですですから自分の家で晚酌をやるなどのことは全然ありません。但し宴會の席では、大いに飲んで大いに喋りますが、せめて正月だけでも自分の思ふ通りの生活を樂しみたいと言ふのが私の溫泉避行です（寫眞は矢鍋金組聯合會長）

川岸廿師團長歸城

羅南師團初度巡視中であつた川岸第廿師團長は廿二日午後三時廿二分歸城した

矢島農林局長東上

林業關係會議並について過般來本府農林局で具體案の作製に努めてゐたが、このほど成案を得たので、矢島農林局長は中央に於ける財界との折衝のため廿一日午後四時十五分京城驛發『ひかり』で東上した

人

◇鈴江原道知事　廿一日入城朝鮮ホテル

天地玄黃

議會における言論に鑑み、議會二日間の停會

×

その昔論、明日の政治への一歩、政界これからいよ〳〵多事

×

この間に處する國民の態度、飽までも冷靜沈着を要す。過りに輕擧すべからず

×

工事景氣を惹んだのも束の間今度は工事材料の暴騰で工事の方が目を白黑

×

貿易協會が懸案難、その懸案難の急速解決が出來ぬやうでは貿易振興の腕前も怪しいもの

×

ＢＫとＡＫとタイアップして國境警備慰問の夕は好プロ。警備狀況を內地同胞に徹底的に知らせることも慰問行爲の一つ

【赤外線】

議會停會の非常時二風景、片や爆彈男濱田老はオブラートにくるんだ爆藥を頻發りながら『熱がさせたのだよ、熱がね、人生六十年と見れば七十の俺には十年のプレミヤムが附いてるよ、死ぬも又よしワツハツハ』片や寺內陸相『なに雨だ、濡れて歸るも又一興、さあ步いて歸らうぜ、大したことはないよ』

御殿樣
邦枝完二作
神保朋世畫
(165)
波しぶき（十）

『お〻お豔。』

主人の清兵衞は、木戸の外から飛び込んで來た濡れしよぼれた姿を見ると、いきなり傍へ駈け寄つた。が、次の瞬間、その口からは『あッ』といふ驚きの聲が吐かれた。

『お前は、お豔ではない。……』

『ほゝゝゝ。』

文金島田の根もがくりと崩れた女の笑ひは、如何にも冷やかだつた。

『あたしやお豔なんぞた、一度も云つた覺えはござんせんよ。』

番頭をはじめ見世の者達は、一樣に驚きの眼を女の顏に集めた。

『自はツくれるにも程がある。たつた今、酔つた男と云ひ合はせて、たしかにお豔と云つたのを、あた[illegible]

しはこの耳で聞いたばかりだ。――ええ太い女が。……』

おのれの落度になるのを恐れてであらう。番頭は膝に肉立てゝ今にも女の胸を鷲掴みにせんばかりに詰め寄つた。

『もし番頭さん、そんな形相してどうしようといふのさ。あたしの命にちよいとでも觸つて御覧、そのまゝにはおかないよ。』

『な、なんだつて。』

『今酔つた男と云ひ合はせたの、示し合はせたのといふけれど、あたしや今の男に逢つたのは今夜が初めて、あれやア名前さへ知らない男だよ。』

『何をいふのだ。名前さへ知らない男とぐるになつて、大金をかたり取らう筈がない。――これ長松、ちつとも速く自身番へ駈けて行つて、この有樣を話へて來な。』

『へい。』

長松といふ丁稚があわてゝ立上らうとするのを、女は徐かに押し留めた。

『お待ち。』

『ええ何を留めるのだ。』

『用があるから留めるのだよ。な

『お前さんは。……』

何やら意味ありさうに、史めて顏を覗き込んだ主人や番頭を、女は嘲び冷笑するやうに見おろした。

『御本丸の女中だよ。』

『えッ。』

『老中栗原樣のお附女中おころといふ者。……』

『ヘッ。』

『お宿下りの途すがら、悪い男につけられて、どうでも仕事の手傳ひをしないことには、命も取らうといふ威嚇。それゆゑあたしは云はれるまゝに、こゝまで附いて來たのだが、あの男の指圖通りにしないことには、どんな目に遭ふか知れない危い羽目となつては、誰でも言ひつけ通りにするだらうぢやござんせんか。――それとも御主人、飽までもあたしを自身番へ渡へるのなら、直ぐにも泥へて御覧。その換り今も云つた通り、この見世は、明日とも云はず今夜のうちに、潰れてしまふかも知れないよ。』

さう云ひながらニヤリと笑つたおころの眼には、云ふに云はれぬ艶な影が宿つてゐた。

まじつか自身番なんぞへ駈け出してごらん、それこそこゝの見世は明日ッから暖簾を懸けることが出來なくなつてしまふんだよ。』

『なんだつて。暖簾が懸けられなくなつてしまふッて。冗談云つちやア いけない。お前のやうな惡人を突き出すための自身番だ。いゝから長松、速く行きな。』

『お待ち、と云つたら待たないかい。――みんな大きな眼を開いてこの御紋を拜むがいゝよ。』

腰をかけたまゝぽんと見世のまん中へ投げ出した帽子の、朱塗のおもてに燦然と光つたのは金蒔繪の葵の御紋。

『あッ。』

『これや、この御紋。――』

『それが、この御紋と知つたら、あたしのいふ通りにするがいゝよ。』

新春の懸賞

初春や神代の
ことの偲ばるゝ

お正月のなごやかさは一しほで神詣はこの季節の行事になつてをります。

皆さまも定めしそれぞれの神詣をして福運を祈られたことゝ存じますが今回その餘興として神さまに因んだ目出たい懸賞募集を致します。規定御熟讀の上奮つて御應募下さい。

問題

一、この頁に掲載した五つの神社の寫眞にドコのお宮さまでせう、それぞれお書き下さい。

二、こゝに掲げた十一の廣告の會社名又は商品名を記して下さい。

三、新聞で見たことを記入

アイデアルカラー

高級特許品　いつも純白　スタイル端麗

京城府南大門通三丁目
代理店　吉岡商店

札○神社（札幌）

○臺神社（仙台）

(福岡) 太宰府天○宮

神詣で 賞

▼締切 一月二十八日到着
▼發表 二月十五日の本紙上にて發表す
▼宛名 大阪市今橋二 第一廣告社
正解者は新聞社員立會抽籤で左記賞品を贈ります

賞品
一等 テイチクポータブル（レコード五枚添）一台 一名
二等 美術置時計（カレンダー付）一個宛 三名
三等 高級萬年筆 一本宛 十名
四等 特製シャープペンシル 一本宛 二十名
五等 三越製タオル 一枚宛 五十名

札幌 札幌神社
名古屋 熱田神宮
仙台 鹽竈神社
福岡 太宰府天滿宮
京城 朝鮮神宮

(名古屋) 熱○神宮

(京城) 朝○神宮

粂平内（56）

小金井蘆洲 演
福田勇 畫

妙な修業者（二）

「これは〳〵捨て置に聞く長兵衛親分、今晩はえらい御厄介になりました。拙者は平河町に道場を構へてゐる平松甚三郎、このお方は拙者にとつては大切な客、厚く御禮を申上げる」

「どう致しまして御丁寧なそのお言葉、實はかうでございやす。先程わつちの乾兒の聞いて來た話に、今日天下無敵と威張つてゐた赤坂無敵流の道場を破つたお武家がある、通りかゝつて看板を叩き毀してゐるところを見ましたが大層なもんでした、その方が柳生流の名人で粂平内樣と仰しやる御浪人だ、とかう聞きやした。えゝまア白柄組の鼻を叩きますアお膝のいゝ話だと實は勇んで參りやしたので……と、は知らず通りかゝつた櫻田門、大勢の奴がたつた一人を取圍んで歩き、卑怯た振舞、畏らざる腕立てとは存じましたが、ちよつとばかり言葉の助勢を致しやした。そのお方が平内樣とはこいつアよく〳〵御縁のあることゝ今者へて居たんでござえやす、この平内樣こそ天下無敵、つく〳〵感心致しやした」

「ふむ――、左樣でござつたか、それは〳〵御苦勞千萬、水野十郎左衛門、近藤登之助までが加勢しての闘ひとは、さても驚き入つた卑怯者、それを苦もなく撃退された平内殿のお手の内、また長兵衛殿が助勢の侠氣、實に感服の外はござらぬ」

「平松氏、さうお褒めに預かつては恐れ入る、彼等の逃げたのも偏へに長兵衛殿のお蔭」

「いや何も彼も重畳に存ずる。就いては兎に角、今晩は拙者の屋敷にお泊り下さいやう。是非お引返し願ひたい」

長兵衛が口を挟んで、

「平松の旦那え、その御心配には及びませぬ。一旦左樣ならと出て來たお屋敷へ、またお戻りなさるのも妙なわけ、今御當人には申上げやしたが、直きこの木挽町にわつちの家といふのも可笑しいが、……まあ自宅みたいなものがござえやすから、今夜のところはその家へお連れ申しやして、一つ酒盛び申しやすのは明朝になつてのお召物。乾兒の奴を頂きに飛上げやすから、どうぞお渡しなすつて下さいやし、お武家樣に似つかねえ町人の着物では、邪魔になつてのお歩きは見つともなうございやす」

嬉々と何から何まで行屆いた長兵衛のその言葉に、平松もうなつき、

「如何にも御尤も。それでは何分お願み申す」

と、茲に平松甚三郎も安心をして、挨拶を交はし右と左に別れた

「さア平内樣、此方へいらしつてお休れなさいやし」

と、長兵衛に伴はれて來たのが木挽町九丁目、懸かな造りの黒板塀。

これは長兵衛の妾お通の家だ。二十三四の粋な女よし、妾こそしてゐるが、當時江戸で名代の長兵衛に見出されるくらゐの女、至つて勝氣な性質の働巧者。

「さア旦那、これがわつちの家でございやす。御遠慮なく。お通や珍客をお連れ申した。丁寧にお扱ひを申上げなけれやアならねえぞ」

お通は三指を支へ、

「これは〳〵ようこそお出で遊ばしました。兎も角もこの寄衣をお召替へなされませ。おや〳〵お足に血が大層ついて居ります。お待ち遊ばせ、只今早くお洗足のお湯を汲んでお出で」

痒いところへ手の届いた待遇振り、平内は狐にまかれたやうな心持ちで座敷へ上ると、早くも取出した酒肴、その手つ取り早いのには平内殿も驚いた。

「ヤア、これはどうも、斯樣な御厄介に相成つては恐れ入る」

「なーに、蛇く御のことで夜は更けて居りやすし、かた〳〵お口にあふやうなものはございやせぬ。まづ一獻ごゆるり召上つて下さい」

と、二人さし向ひに盃を傾ける。

京城日報
朝夕刊共十六頁　朝刊

けふ解散を前に政情緊張！

解散斷行は當然 むしろ遲きを感ず

既成政黨は現狀維持に汲々たる有樣

陸軍强硬決意を固む

【東京電話】寺内陸相の決意は現在の如き既成政黨と行ひを共にしては到底躍進日本の使命たる庶政一新の斷行は期待されず且また陸軍部内統率の責任を負ふことも困難でありとの信念の下に政府と既成政黨の妥協苟合を絶對排除し既成政黨にして飜然從來の態度を改めざる限り斷乎解散すべしとの强硬決意を固め閣議においても一路解散斷行を主張し部内一般もまた陸相の態度を悉く是認しあくまで陸相の主張貫徹を待望してゐる、而して部内一般の本問題に對する見解は大體左の如くである

既成政黨の態度より見て解散斷行は當然の處置であり寧ろその遲きを感ずる位であつて、既成政黨は庶政一新を口にするもその實は現狀維持に汲々たる有樣で現狀打破を欲せざることは明白であ…、帝國内外の現狀より見て現狀維持をはかることは滿洲國の健全なる發達、權益の擁護を初めとし大陸より全面的撤退を意味するものである、かくの如き事態は九千萬國民といへども甘受せぬであらう、若しかくの如き退嬰一本の方針を欲せぬとせば宜しく現狀を打破して庶政一新を斷行せねばならぬ、恐らく九千萬國民といへども退嬰日本を欲せぬであらう果してしからば現在の既成政黨が如何に多數を擁するも國民の眞の代表にあらざることは明白である、從つてこの際斷乎解散して既成政黨の猛省を促し躍進日本の使命遂行に相應しき人材を議會に送ることこそ最も肝要事である

寺内陸相

海軍、陸軍側を激勵（兩次官會見）

【東京電話】梅津陸軍次官は二十二日午後五時四十分山本海軍次官を次官々舍に訪問議會解散問題につき凡そ四十分間に亘り重要會見を遂げた、席上梅津次官は

二十一日の院内の空氣は絶對的政府反對であり政友會の濱田氏の演説は明かに皇軍を侮辱するもので軍の威信保持上絶對に許容し難いものがある、この際時局認識にかて缺ぐる所ある政黨を反省せしむるため斷乎解散すべきであると確信する

と述べ海軍側の意向を打診したが之に對し山本次官は

海軍側としては事態の重大性に鑑み自重的態度をとり解散問題については未だ最後的に決定してゐないが陸海軍は車の兩輪の如く一致して難局打開に邁進したい

と述べ陸軍側を激勵した

既定方針を持し けふの閣議注視

民政首腦會議並に議員總會

【東京電話】民政黨では二十二日午後一時本部に最高幹部會を開き頼母木遞相以下閣内關係者、永井幹事長以下首腦部出席、永井幹事長より政府の議會停會に對し町田總裁を代表することになつた旨を報告し諒解を求めたる後、頼母木遞相より政府内部の消息を報告したが停會の理由は『議會の言論に鑑へかくの如き處置をとつた』とのみにて閣内の微妙なる動向と遞相自身の問題には何等觸れなかつた、首腦部もまたこれに對し別に質問を發せず…る者もなく兩者の間に汲々たるものであり…ものがある、次で齋藤隆夫氏より

政府は解散するくと例の如く威嚇的態度に出てゐるが之は常套手段で我黨は何等これに對し考慮する必要はない、依つてこの際我々は政府の出様を靜觀し去る黨大會にかけて町田總裁の演説を基調として政府に質すべきは質し檢討すべきは充分檢討を加へ然る後態度を決するが當然である、今日に於てもこの既定方針を變更する必要はない我々は結束を固くし成行を靜觀すべきである

と述べたほか土屋清三郎、木檜三四郎氏等よりも意見の開陳あり最後に小泉又次郎氏より

二日間の停會に對し我黨のとるべき態度は何であるか、事柄は極めて重大である、内容は極めて簡單である、庶政一新の風潮急なる時會の詔勅を拜したことは誠に恐懼に堪へない所である、我々は動かざること山の如く靜かなること林の如き態度を以て成行を靜觀したい

と述べ一同も之に賛意を表し小泉總務の主旨を申合せて引續き代議士會に移り代議士會に於ても中村三之丞、俵上政三、齋藤隆夫の諸氏より種々意見開陳あつたが結局小泉總務の意見を代議士會にても申合せることになり最後に櫻内總務より

かゝる重大なる際いつ如何なる事態が發生するやも知れず我黨は飽くまで正々堂々の態度を以て邁進したいと考へる、依つて諸

民政、政友兩黨の動向

【東京電話】小川商相は二十二日午後七時二十五分鐵相官邸に前田鐵相を訪問鐵相より政友會内の事情を聽取したる後

民政黨の意向はなほ明白に決定を見るに至らないが頼母木遞相の立場は特殊のものがあり黨とも十分連絡が取れないので二十三日の閣議前までに意嚮に當出

君も出來る限り在京して事態の成行を靜觀されたい

と激勵し同四時散會した

力して行きたい

とて民政黨内の事情及び自己の身邊についても種々説明を加へ諒解を求めたに對し前田鐵相は

政友會としても儼然たる見透しはついてゐない然し我々は飽くまで公明正大を期し國務大臣として難局の重任遂行に誤りなきを念とし成るべく協調して進みたい

と述べ兩者提携を約して同七時五十五分商相は辭去した

前田、小川兩相は相提携して進む

◇……小川商相

◇……前田鐵相

頼母木遞相は閣内に止まる

【東京電話】政府が議會解散の方針決定に當り政黨出身閣僚の進退は頗る注目を引いてゐるが頼母木遞相は解散の理由が政黨は政府の施策と庶政一新遂行に協力を與へざるのみか更にこれを拒否する態度に出てゐるから衆議院の猛省を促すといふにあるから依然閣内に止つてその持論たる電力國營の具現に邁進する筈である

身關係としての態度を決するのに非常に困難を感じてゐる、我々は國務大臣として又政黨出身閣僚として難局打開に努力し協

解散は非立憲行爲

政友會から島田農相に通達

【東京電話】政友會では二十二日午前十一時院内に緊急總務會を開き鳩山總務以下各總務、安藤幹事長出席、安藤幹事長より同日鈴木總裁と島田農相との會見顛末及び前田鐵相と幹事長の折衝經過を詳細報告し黨の態度につき種々協議したが

政黨の分野に分解作用を豫想

總選擧に對する内閣の見解

【東京電話】政府は二十二日の閣議で解散の方針を決定、二十三日の閣議で正式に決定することになつたが政府は現在のところ何らの興論なしに解散を斷行するに意見の一致を見たのは軍部が『現在の政黨に反省を求めるには解散以外に途はない』との强硬意見であり廣田首相なども また現在の如き情勢であつては革新政策を遂行し得ない故解散を斷行して民意の存するところを明かにする必要があるとの意見であつたため遂に解散に決定したものであつて選擧の結果によつては總辭職を斷行せんとするものであるが、一部閣僚の間では總選擧に當つては必ず政黨分野に變化起り、現在の軍部その他の勢力と協調して庶政一新、爲さんとするものと、現狀維持、政黨政治復興論者との分解作用が行はれ新たな政黨が生れるであらうとの見解を有するものもあり、解散後の政黨分野及び政界の動きは相當面白いものがある

閣議解散決定まで

【東京電話】政府は軍部政黨の正面衝突によつて惹起された紛亂事態を收拾するため二十二日午前十

わが黨進出の絶好機到來す

社大、解散待機指令

【東京電話】社會大衆黨は二十二日午後四時黨本部に書記長會を開き協議の結果解散を見越して全國各府縣支部に對し左の指令を發した

政局危機に瀕す、解散必至にして我黨進出の絶好機到來す、諸君待機せよ

總辭職が至當

貴院方面の意向

…政府が議會解散斷行方針を決定したに對し貴族院各方面では左の如き意向を有してゐる

政府は愈よ局面打開のため解散斷行を決定した模樣であるが、これは甚だ不可解と存ずる、民政、政友兩黨を初め國民の代表たる衆議院各派の態度が一致して現内閣に反對であることは明白でありまた一方貴族院について見るに最大會派たる研究會の非公式代表とも言ふべき渡邊千冬子の質問演説もこれ亦現内閣の施政方針に頗る不滿を表明してをり更に第二陣を承はる公正會の阪谷芳郎男、交友倶樂部の小久保喜七氏、同成會の菅原通敬氏等何れも現内閣の施政に反對の意味の質問演説を行ふことになつてゐる、假に政府が一部少數の支援者を得てゐるといふならば解散によつて信を國民に問ふことも出來得るが斯くの如く貴衆兩院一致して反對してゐる以上總辭職を斷行するとが至當で解散云々は寧ろ後繼内閣の手によつて行ふべき問題である

一、政府が國務大臣の演説に對する質問應答の途中突如停會の措置に出たことは不可解だ

一、從つて停會の期間滿了と同時に質疑を繼續し政府と政黨との主張を國民の前に如實に示し國民の公平な審判を待つのが當然の措置と信ずる

一、政府としてこの當然の措置に出づることが出來ないならば政府はその責に任じて總辭職すべきである

一、しかるに政府が議會に對して解散を以て臨まんとすることは非立憲極まる態度であつて國民も認容すまい

一、從つて政府は速かに議會をして政策檢討に入らしめるかしからずんば總辭職を行ふべきである

と云ふ意見が大勢を制し直ちに鈴木總裁の命で安藤幹事長は閣議出席中の島田農相にこの旨通達した

一時半より首相官邸に臨時閣議を開き廣田首相以下各閣僚出席、まづ寺内陸相より

政黨が正しく時局を認識して政府に協力せざる以上議會を解散して之に反省を求めるより外執るべき手段はない

と强硬に解散論を主張し、之に對し島田農相、頼母木遞相、永田拓相などは直ちに解散論に賛意を表明するに至つた、之に對し平生文相、小川商相等より一應解散反對論が述べられたが閣議の大勢は解散論に傾き結局解散斷行に意見一致し二十三日午後一時半より臨時閣議に解散を附議してその手續きをとるに決定し同零時三十分散會した

風見章氏國同脱退

【東京電話】國民同盟所屬代議士風見章氏は二十二日午前十時麻布の邸に安達總裁を訪問、國民同盟を脱退する旨述べて諒解を求めた

黨の決議通り行動するは困難

前田鐵相態度表明

【東京電話】安藤政友會幹事長は二十二日午後三時十五分鐵相官邸に前田鐵相を訪問

『黨出身閣僚は非立憲的解散に斷じて同意すべからず』

との黨の決議を傳へ鐵相の善處を要望したが前田鐵相は『十分努力はするが四圍の情勢上黨の決議通り行動することは非常に困難である』とてその態度を明かにしなかつたので安藤幹事長は不滿の意を表し會見五分にして辭去した

としてもまだ解散を決意してゐる譯ではない、二十三日の閣議で何れとも決定する筈であるから、その際は黨の決議の主旨に副ふ樣努力をするがしかし自分には閣僚としての立場と黨出身閣僚としての立場と二つありその間自ら區別があつて之を一致せしむるやう努力しつゝある

と述べ、東、中村外數氏より意見の開陳あり種々協議した結果總務會は幹部會の決議の主旨を尊重することに意見一致し、なほ今後事態に變化ある場合は改めて鈴木總裁を中心に最高首腦部が檢討の處置を講ずることゝし午後1時三十分散會した

政友首腦協議

【東京電話】政友會は二十二日午後五時より鈴木總裁邸に最高首腦部會を開き川村、山本以下各顧問、前田、島田兩閣僚、鳩山總務以下院内總務砂田政調會長安藤幹事長等出席先づ安藤幹事長より議會停會後二十二日本部で解散絶對反對の旨の決議を行ひ前田、島田兩閣僚に手交したる經過を報告したる後島田農相より黨の決議は諒承してゐるが政府

總選擧對策 内務首腦會議

【東京電話】内務省は二十二日午前十時官邸に潮內相、湯澤兩次官、唐澤警保局長、早川警視總監など首腦部會議を開き同時に地方局においても選擧施行に關する

對策を協議したが總選擧期日は衆議院議員選擧法第十八條第三項の通り『衆議院解散を命ぜられたる場合においては總選擧は解散の日より三十日以内に之を行ふ』を適用、解散直後潮内相より臨時閣議に諮り最後的決定を爲す筈である、普選法施行以來四回の前例に做し解散の翌日より起算して三十日目をもつて選擧期日としてをるので二十三日解散の場合は二月二十二日になるものと見られてゐる、而して前回は選擧法改正後最初の適用のことゝて選擧名簿その他に變更あつたが今回は所謂十二月二十五日の確定名簿があることゝて前回選擧前あつた選擧公營事務に專ら意を注ぎ萬遺漏なく準備に着手、解散と共に地方長官宛『帝國議會解散さる』との電報を發すると共に地方長官會議警察部長會議の手配を整へることゝなつてゐる

京畿警察異動

＝廿二日付＝

開城署長警部　前田賀夫
警察部警務課勤務を命す
水原署長同　藤田乙吉郎
補開城警察署長
鍾路署同　黒沼力彌
補水原警察署長
保安課同　井上數人
京城鍾路警察署勤務を命す
西大門署警部　鈴木舜雄
京城永登浦警察署勤務を命す
高等課同　吉本不可欣
京城西大門警察署勤務を命す
永登浦署警部補　佐藤福治
警察部保安課勤務を命す
高等課同　坂本盛行
任警察部高等警察課勤務を命す
西大門署同　木澤政直
京城永登浦警察署勤務を命す
坡州署巡査　小林長助
警察部衞生課勤務を命す
任警部補京城西大門警察署勤務を命ず

十一年米實收高 六千七百三十餘萬石

【東京電話】農林省發表、昭和十一年に於ける米收穫高は六千七百三十四萬二千七百二十三石にして之を前年收穫高に比すれば九百八十八萬五千七百四十石（一割七分二厘）前五ヶ年平均に比すれば八百十九萬六千三百九十六石（一割三分九厘）を增加せり

飯倉課長勇退

後任は佐々木技師に内定

朝鮮總督府遞信技師　飯倉文甫

大正十一年以來遞信局工務課長の任にあつた飯倉文甫氏は後進に途を拓くためこの度功成り名遂げて勇退することゝなつた

同氏は明治四十一年年東京帝大電氣工學科を卒業後大阪遞信局技師より勅任技師として大正十一年米鮮工務課長として今日に至つたこの間朝鮮の電信、電話の建設を始め放送事業の基礎工作にも力を注ぎ朝鮮の遞信事業を今日の如く隆盛ならしめた功績顯著なるものがある

同氏は退官後四月頃まで京城に在の筈、又同氏はスポーツにも理解あり遞信野球部長として選手の指導に當つてゐた、なほ後任工務課長は同課技師佐々木仁氏が昇格に内定してゐる（寫眞は飯倉氏）

閣議決定人事【東京電話】

閣議決定事項

川岸師團長歸任

川岸第廿師團長は南鮮部隊の初度巡視を終へ廿二日歸任したが、同師團長は南鮮地方において時局に對する一般の認識と防護精神の薄いのを痛感し、地方官民と會見の席上一般の緊張を要望した

夕刊後の市況

◇……大阪短期後場

	引	高	安
大新	八八〇	九〇五	八八〇
鐘新	二三〇	二三四八	二三一九
日産	八〇〇	八〇八	八〇〇
新東	一三五〇	一三九六	一三五八
日鐵	一三〇〇	一三四〇	一三〇一
日レ	九六六	九七四	九六〇
後一	一三〇〇	一三一三	一三〇〇
帝人	一三一四	一三一九	一三一三
同信	九二七	九二九	九二七
鐘實	一〇二一	一〇五〇	一〇二一
日曹	九八〇	九八九	九八〇

◇……朝取短期後場

	引	高	安
朝取	八四〇	八四〇	八四〇
朝新	三〇九	三一〇	三〇五
鐘新	二三二一	二三九	二三二五
新東	一三九七	一三九七	一三九八

◇……東京短期後場

	引	高	安
大新	八八七	九〇五	八八八
日産	八〇三	八一七	八〇三
日新	三一四	三一九	三一四
日曹	—	九八九	九八九
朝拓	—	三五八	三五八
鐘實新	—	九五五	九五五
新東	一三九一	一三九三	一三九一

◇……横濱生糸後場

日産　八〇四　八一〇　八〇七

◇……前井人絹後場引

當　九〇〇、〇　先八八二、〇
當　八四、五〇　八二、〇〇

實物後場

大同産業三四三　朝鮮製錬二九四三　全羅鐵業新一九四　丁鐘實二新五六四　丁曹達新三四四　三人肥新一七四　七人造羊毛一六四　五旭紡一六四　六大東紡新一二四

＝人＝

◇富田勇太郎氏（朝鮮銀行總裁）廿二日午前十時半飛行機で入城同日々あかつき〃で東上
◇松田義雄氏（同理事）同上
◇ビー・マックレランド氏（日本郵船シヤトル支店館副店長）廿二日入城朝鮮ホテル
◇東郷實中佐（本府御用掛）廿二日鎭海より歸城
◇仙波久良氏（政友會代議士）廿二日入城朝鮮ホテル
◇米岡羅津要塞司令官　廿二日入城軍司令部訪問
◇松本朝鮮製錬社長　二十二日湖南へ
◇兒島咸北知事　廿二日入城同日歸任

社說 明日の政治

第七十議會は廿一日を以て再開されたが、當日の衆議院に於る言論に鑑み、廿二日から二日間の停會となつた。停會後に來るべきものは解散の模樣であるが、當日の言論を通じて見るに貴族院における渡邊千冬氏の論議にしても、衆議院における濱田國松氏の議論にしても、將た又議論の空氣そのものが相當深刻なる印象を與へたものがあり、この空氣から推して、今後の道程の容易ならざるものあるを感知するに足る。而して國民大衆としては、時局今後の展開如何について或る種の焦燥を感ぜずにはゐられまいと思ふ。しかし此際國民として取るべき態度は、暫く焦燥を押し鎭め、焦燥を拂拭し去つて、冷靜以て時局を靜觀し、徐に明日の政治の理念の檢討をなすの餘裕を示さねばならぬ。

×

滿洲事變以後東亞の情勢が全く一變すると共に國際情勢も亦一變した。而して國內的には新興指導層の擡頭を見、新舊指導層の對立の狀態顯著となつて來た。そして時代は物質的に飛躍的轉換をなしたに拘らず、思想的に頭の轉換が之に伴はず、舊指導層は時代の轉換は容認しながらも、指導方針が時代の足歩と一致せず、動もすれば舊來の幽靈の映像を逐はんとするの狀況がある。一方新興指導層にありては、頭は時代と共に進んで來て居りながら、その思想、その理想、その理想の規矩指標の表示において、十分大衆に諒解の及ばざるところがある。そのために或はファッショで行くにあらずやなどと臆測されるやうな現狀においてある。皇國日本には皇道一本の政治があるのみであつて、實に一君萬民の大義を徹底せしむることが、何時の世如何なる時代においても、全指導層の把握する政治理想であらねばならず、事實それを以て一貫し來つてゐるのである。

×

この際、我國民大衆指導の上に最大の急務とするところは、時代轉換の事實をはつきりと認識せしめると共に、明日の政治の規矩指標を明示して、十分にこれを理解せしめることである。庶政一新といひ、機構改革といふも、これは上層指導階層の間にのみ理解される專門的工作であつて、國民大衆はこれを理解するの能力において缺くるところあるを知らねばならぬ。即ち今日國民の知らんとするところは、明日の政治の機構樣相にあらずして、思想的、精神的動向そのものである。舊來の政黨政治でもなければ、極端的ファッショ政治でもなく、皇國の大精神をそのまゝ顯現する皇道政治そのものが、千歳不磨の憲法の下に、今後斯樣にして行はれて行くのであるぞといふことを、適正明確に表現する標語の徹底が缺けて居るばかりに、現下の政治的焦燥が國民大衆の心懐の上にも一つの焦燥となつてゐることを認知するの要がある。

物價の奔騰に怯える 五十萬の勞働者群

京城土木建築協會を通じて 賃銀値上げを陳情

惡性インフレの波に乘り日用品をはじめ味噌、醬油までも値上げされ諸物價も大發狀をなしてゐるが、この結果明年度の第一線に起つ全鮮の勞働者約五十萬人(鑛業、農業、民業を併せ)の生活狀況も急變し、賃銀の……物價騰貴による勞働賃銀……に關する重要問題に關し、……態度で對策を講じ、同時に……會長と伊達京城土木建築協會長との間に右問題に關し、協議をすゝめてゐる、右に就いて柳澤社會課長は語る

『諸物價や材料が高くなつたがこれによつて勞働者の一番大切な米が騰貴すれば、勞働賃銀の値上げは當然考へなければならぬ重要問題であるだけ、愼重な態度で對策を進めてゐる』

値上げの親玉 〃鐵〃は心配ご無用

儀禮の聲は買占めや賣惜みから 石田總督府鑛山課長の話

物價騰貴によつて鐵材の如きは著しくはね上り、これがため各地も鐵材が不足、工事中斷を來らしてゐるが右につき石田鑛山課長は語る

『現在日本では鐵はそれ程不足してゐないと思ふ鐵鑛も豐富だから心配ないと思ふ、鐵は最も必需品である爲め騰貴の魁として吊騰したと見られる、更に鐵材が不足するやうな結果になつてゐるのは或る業者が買ひ占めや賣惜みをやつたりして暴利を得んとしてゐるためで外國も……であるために日本から……吐き出してゐる狀態だから……へ行つても〃鐵線〃の……くのだしかし朝鮮でも……日窒第二期工事で鐵の增産を完了するので、心配はないと思ふ、更に茂山鑛山をはじめ朝鮮の地下の資源は豐富である』

農村振興事務打合會議 三月上旬開催

總督府農村振興課では新年を迎へ且つ十二年度を前に農村振興に拍……

非常時に備ふ 東京の朝鮮青年 先づ青年團を結成す

【東京支社電】……國家の非常時……在京朝鮮人青年間に……二年來修養機關としての朝鮮青年團 創立の議が叫ばれてゐたが、この程岩佐中將田中前警務局長等の盡力に依つて結成この程東京市世田ヶ谷區世田ヶ谷館で盛大な結團式を擧行した定刻六十餘名團員が參集、宮城を遙拜、續いて會則協議等が行はれ團長に金在永、副團長に李鍾溫朴吉道、幹事長に鄭太鎭、會計金在興、鄭太鎭外幹事九名……の祝電朗讀後萬歲を三唱して午後九時半散會した、尙、在京半島の青年團結成は

これが最初 であり、東京府、市その他各關係方面でもこれが健全なる發達を期するため、なるべく助成せんとの傾向にあり建國祭迄には百名の團員を獲得、聯合青年團に加盟の豫定で當局において斯かる朝鮮人修養團體指導の今日非常に期待されてゐる

重油使用船舶數 千餘艘四萬五千ガロン

漁業用重油免稅廢止問題を繞つて各種の施設代案が講究せられてゐるが各道別にこれが使用船舶數を示せば次の如くである

區別	船舶數	使用重油
第一區慶北	五〇	一、六〇〇
第二區同	四五	三、四〇〇
第三區同	一二〇	一、五〇〇
第四區同	一三〇	一、五〇〇
第五區同	四二	三、〇〇〇
第六區同	三七	一、八〇〇
咸北漁市場	七二	五、五〇〇
東海岸漁市場	一三四	七、五〇〇
關市場	一八四	一二、〇〇〇
釜鎭延繩	二九〇	三、〇〇〇
合計	一、〇〇四	四五、三〇〇

鐘紡群山工場 整地工事開始

鐘紡群山工場は敷地九萬坪の整地工事入札を行ひ十五萬圓を以て大田米吉組に落札近々着工の事に決定したが、更に五月頃工場建設の入札を行ひ本格的に着工の事となつた、尙ほ大邱工場も二三ヶ月中には着手する由

平安鐵道工事 來月中旬頃着工

鐵道局と鎭南浦と安州を結ぶ平安鐵道では既に延長三十七キロの測量を完全に終了し目下設計を急いで居るが今月中には終了來月中旬頃工事入札を了し直ちに着工する事となつた、同鐵道は府營であるが隧道其他の難工事もなく今年中に工事完了出來得れば年內に營業開始をなす……

馬場藏相財政演說 (廿一日の議會で)

【東京電話】現下我國內外の情勢より見るときは今日の時局に對處し國運の進展を期すると共に國民生活の安定を圖るが爲には幾多重要なる施設を講ずる要あるは論なきところである、故に政府は國防の充實、敎育の刷新改革、中央地方を通ずる稅制整備、國民生活の安定、產業の振興及貿易の伸張、財源の確立並に行政機構の整備改善を以て昭和十二年以降特に重點を置き施設すべき國策を定め今後出來得る限りこの實現を期することとしたのである、之を十二年度豫算の編成に付ては之等重要國策の遂行に要する經費の計上に努めると共に極力普通歲入增加の方途を講じ財政の基礎を鞏固ならしめる方針をとつたのである、編成した昭和十二年度總豫算の金額は歲入歲出各三千八百五十餘萬圓……之を前年度實行豫算の……に比較すれば歲入において……三百餘萬圓、歲出においても……二千七百餘萬圓の增加となつてゐるのである

まづ歲入豫算 について大體の說明をするに普通歲入は經常部二十億一千四百九十餘萬圓、臨時部二億二千百十餘萬圓合計二十二億三千六百十餘萬圓であつて前年度實行豫算に比すれば經常部において五億六千六百九十餘萬圓、臨時部において六千九百四十餘萬圓、合計において六億三千四百三十餘萬圓の增加となつてゐるのであるが……

……いと思ふ、まづ第一は稅制改革による增收計畫である、この改革案要項についてはこの說明を右法律案の提案理由を申述べる際に讓ることとし、今その增收額につき申述ぶるなれば昭和十二年度においては現行稅法を改正することによつて三億三千七百三十餘萬圓、新稅即ち財產稅、外貨債特別稅、揮發油稅、取引稅及び有價證券移轉稅を創設することによつて八千二十餘萬圓合計四億一千七百五十餘萬圓の……

……に對する補助その他外國貿易の進展を圖るに必要なる經費に充つることとしたのである、而してその收入見込は合計八百四十餘萬圓である、第三に煙草値上げを始めアルコール專賣制度實施による專賣局益金增收計畫である、昭和十二年度においては煙草値上により二千五百四十餘萬圓の增收を來す見込、また昭和十二年度よりアルコール專賣制度を實施することとしたのである、之による昭和十二年度益金は二千百六十餘萬圓に上る見込である、增收計畫の第四として一般及び特別會計相互の調整を圖るの主旨よりして通信事業及び帝國鐵道特別會計より合計四千二百六十餘萬圓、外地特別會計より一千九百二十餘萬圓を夫々一般會計に繰入れることとしたのである、なほ稅制改革により銀行預金利子などに對する自然の影響並に低金利の漸進的進行との關係をも考慮し昭和十二年度より郵便貯金の利下げを行ひ、內地普通貯金利率年二分六厘四毛については特別會計より大藏省預金部利子資擴……を目安として大藏省預金部特別會計より毎年度一千萬圓、一般會計に繰入れることとし之を以て主として都市及農村を通ずる社會政策的施設の經費財源に充當することとしたのである

政府としては 以上述べたるが如く各種の增收計畫により極力普通歲入の增加を圖つたのであるが、これのみでは未だ必要の經費を賄ふに足りないので政府は一般會計より八億二百四十餘萬圓の公債を發行することとしたのであつて國防充實、國民生活安定その他最も重要なる國策を遂行すべきこの際においてはこの程度の公債を發行することは眞に已むを得ざる所と思ふのである、なほ右の外特別會計において一億五千五百萬圓の公債を發行することとしたので、昭和十二年度における歲出財源のための公債發行總額は九億五千七百餘萬圓であり歲出豫算は經常部十七億九十萬圓臨時部十三億三千七百六十萬圓計三十億四千八百五十餘萬圓である、而して政府が特に重點を置き施設すべき事項として決定した重要國策に關する經費は昭和十二年度における經費の新規增加額は合計十億六千八百餘萬圓であつてその內譯は國防充實(滿洲事變費を含め)六億九千二百餘萬圓敎育刷新改善に關する經費百四十萬圓中央地方を通ずる財制整備に關する經費二億五千七百十萬圓、國民生活安定に關する經費五千四百八十餘萬圓、產業振興及貿易伸張に關する經費五千七百七十餘萬圓、對滿重要策確立に關する經費二千四百九十餘萬圓である

右の如く明年 度歲出においては國防充實に關する經費は相當多額に上るのであるが、他面政府としては國民生活の安定產業貿易の發展伸張を圖る方面においても亦出來得る限りの考慮を拂つた次第である、殊に農村負債整理、中小商工業資金融通、損失補償、造船資金貸付補給制度などの如きはその豫算面に現はれたる數字は比較的少額なるに拘らず政府及び民間資金の活動を刺戟助長し產業經濟の進展に資するところ尠からざるものがあるのである昭和十二年度豫算は前年度に比し相當多額の增加を免れないのである、今後の計上を要するものもあり歲計の膨脹は當分の間繼續するを免れ難いと考へる、右に對し今回企圖した增稅その他の增收計畫と平年度に於ける增收見込みを合せ今後數年間に於ける公債發行額は大體に於いて昭和十二年度發行額程度に止め得ると考へてゐる、而してその後に於ては公債發行額は漸次減少することになる見込みである

以上昭和十二 年度歲入歲出總豫算の大要を申述べたのであるが何この機會に於て聊か我經濟界の現況及政府の財政經濟政策を申述べたい、政府は產業貿易の健全なる發展と國民全般の金利上の負擔輕減を期せんが爲め金融界の實情に即して低金利政策の實行方針を採り以來之が方策の徹底に努力致したのである此の結果金利は更に一層低下を來し其の趨勢は次第に一般に浸潤した、政府としては引續き低金利政策の全面的遂行を期してゐるのである、尙昨年五月一日より九月十五日までの間に總額二十一億餘萬圓に上る五分利國庫債券を三分半國庫債券に借替へたのであるが政府としては更に公債に就ては當分の間低金利政策を維持せんとする方針であつて殘餘の五分半及び四分半公債廿九億餘萬圓に就ても適當の機會に之が低利借替を遂行したいと考へてゐる、昨年に於ける內地外地の對外貿易總額は輸出入總計五十七億二千五百餘萬圓に上り從來の最高記錄たる一昨年の五十二億二千百餘萬圓を遙かに突破し我國貿易の新記錄を作つたのである、之を外國に於ける本邦輸出品に對する防遏手段は甚しきに拘らず斯くの如き成績を收めたことは畢竟我國產業貿易の發達を如實に物語るものである、此の趨勢は今後官民一致益々維持して行かねばならぬと考へる、又輸入貿易に就ては總額二十九億二千八百餘萬圓の輸入を見、而して之が內容は大部分原料品の輸入である

之を要するに 昨年の對外貿易は輸出入とも未曾有の活況を呈したがこの趨勢を以て直ちに樂觀すべきでなく將來に於ても一層輸出の進運に努力致さなければならぬと考へる、近時複雜なる國際經濟界に在つて我國貿易を持續する爲めには外國爲替管理法の運用に俟つ處極めて少くないのであつて、政府は昨年外國爲替管理法の命令改正を行ひ更に爲替見越し輸入の增加を抑制することに力を致した、政府は今後とも常時資本の國際的移動に留意し社會的見地よりしてその本來の機能を十分に發揮せしめることは極めて肝要なることは申すまでもないところである、しかのみならず今後益々その重要性を加へて來る金融に對して周密なる遂行を期せんとの見地よりして政府は各種金融機關に對して直接指導監督を加へるの要ありと考へてゐる次第である

諸君、明年度 豫算は如上申上げました如く相當巨額に上ることになつてをるのである、諸君これは一面我國現下の時局を反映すると共に他面に於て我が國運の發展を示現するといふべきである、我が國今日の產業經濟狀態は既に斯の如き財政を賄ひ得る域に到達したと信ずるものである、政府は產業の發達貿易の伸張をはかるために各種の施設計畫を樹ててこれが實現に努力してゐるので我が國民經濟一層の進展は期して俟つべきものありと信ずるのである、而して我が國內外の情勢を顧れば今日は產業、貿易、金融其他如何なる部門たるを問はず總て眞に擧國一致の實を擧ぐべく十二分にその機能を發揮しなければならぬのである、この秋に當り徒らに投機、思惑、私利的行動に走る等國民經濟發展を阻害するが如きことは嚴に愼むべきである、必ず官民一致而も國家的全體主義の立場に立脚して各般の情勢を觀察すると共に各種の政策及び方針との定めるところに從ひその心構へを表現してならぬと確信する次第である

夕刊後の市況

大阪人絹現物

	百二十番	百五十番
帝人	八七、〇〇〇	八四、〇〇〇
旭	八五、〇〇〇	八四、〇〇〇
東洋	八七、〇〇〇	八二、〇〇〇
昭和	八七、〇〇〇	八四、〇〇〇

家庭

風邪の豫防は食物で出來る

勿論治療もできます

心得て下さい 奧さま方

消化器系統の病氣だと誰でもすぐ食餌療法について考へねばならぬ事を知つてをりますが、風邪をはじめ呼吸器系のそれになると食物の事はついおろそかに思ひがちです。

しかし肺結核の最上の手當が食餌療法に落つくやうに、人間の罹の故障の一切は食物で豫防し治療される、といふ說が近來あちこちで言ひはやされてをります

風邪については寒さに對して體の溫度が平均を失はなければよいのですから、身體のうちでも殊に外氣に接してゐる皮膚や粘膜を溫めるやうな食物が必要といふ事になります。先づ

血 行をよくし、膨脹作用の多い食物を攝るのですが、誰でも溫かい飮もの、食べもので身體が暖まることは御承知でせう。

アルコール類も一時は溫まりますが、反動にてより以上の身體の冷へが來るものです。一時的溫かさにはいろ〳〵弊害も伴ひますが、利用すれば玉子酒のやうに風邪の治療に有効なのもあります。脂肪や、餅、肉類等は比較的長い間體を暖めますから肉うどん、煮込み雜煮、ねぎ鮪肉のすき燒、鯛等はよろしい

寒 くなると冒ほ甚だの中將湯だの、煎じ藥がよく賣れますが、藥物以外に暖かい飮料を數回服用するといふ所に體に體を溫める効能があり、したがつて風邪を豫防、治療する事になるのですから、蜜柑の皮やお生姜や梅干等の手近のものにて煎汁をつくり、あついのを數回服用してゐれば同じわけです。但し咽喉その他に炎症を起してゐる時に刺戟物(生姜のやうな)はよくありませんから避けた方がよろしい

風邪ですでに引込んで熱等ある時には食慾も減退しがちのものですが、食物を攝らせないと體が衰弱し、心臟も弱りますから少しでもカロリーの

高 いものを與へるやうにします。肉汁やスッポンのスープ、玉子、バタ、クリーム、又ヴイタミンや無機鹽類殊にカルシウムが有効ですから玄米や半つき米で重湯や粥を作り、果汁やいろ〳〵のスープ類を與へるとよろしい

更に咽喉や扁桃腺等をいためて食物もよく入らない時は流動食を主として、ゼリー、生玉子、葛湯

◇◇魚の團子汁◇◇

ココア等を流しこむやうにし、食餌療法は一層大切となります。

いわしの頭は手でつまみ切ると腸も一緒にとれますから之を洗ひ上げ、背骨を右手で持ち左の指で

くつとこいで骨をとり、肉と皮をはなします、肉だけを俎の上にのせ、庖丁の平で身を練るやうに擦り、擂鉢に入れよく擂り水少々と片栗粉をまぜて擂り、小さく丸めて煮立つた湯の中に入れて浮きましたらすくひ上げて置きます

× ×

いわしの代りに鯖でも美味しく出來ます、切身の皮をとり魚肉を鰯のやうに押しつぶし擂り合せ水少々と片栗粉を切身三つにつき小匙一杯の割で水溶きして加へてよくまぜ、丸めて煮立つた湯に落し入れて煮ます

× ×

葱は縦二つ割りにし六七分の小口切、豆腐はさいの目、大根はせん切りにしてざつと茹でて用意します、魚を茹でた汁を煮立てて葱を入れ、一煮立ちしたら魚の團子と豆腐を入れます、それから醬油と食鹽で味をつけます、芹でもあしらへば同結構です

肉の榮養價較べ

牛、猪、豚、馬、兎など お値段と正比例せぬ

牛肉 は何れの國でも多量に消費する肉類であつて、血液を含むことが多いから、味もよく榮養價にも富んでゐます、肉類の一般として、年若いものは肉が軟かく美味ですが、牛肉ならば三歲から八歲までの間のものが最も良質とされてゐます

屠殺直後は強直して硬いが、十二乃至二十四時間を經過すれば、自己分解をおこして肉は軟かとなり、香味も出るものであります

牛肉は部位によつて品質の等級があり、鞍下及び臀部の肉を最上とし、脚及び腹部のものを最劣としてゐます、こうしの肉は軟かいといつて歐米では珍重してゐますが、これは成牛にくらべて結締組織及び水分に富んでゐるからで、榮養價値からいへばむしろ劣るものであります。牛肉のビタミン含量は、ビタミンAを少量に含有してゐるに過ぎないが、牛の肝臟中には多量のビタミンBを藏してゐます

猪肉 は牛肉にくらべると脂肪が多いから食べると、身體が溫たまります。それから猪の肉はいくら軟く煮ても、決して形くずれなどしないといはれてゐますが、いくら猪の肉だといつて、百度に熱したら、いくら煮ても百度に熱いので、それをすぐ舌につければやけどします。ただ肉をかなり薄く切つて、口まで

持つてゆくのに少し餘裕があればその時間だけ冷めるからやけどはしない。

猪の肉の成分は、牛より脂肪も水分も多いが、蛋白質や灰分が少ない、エキス分が多いためと脂肪の多いのとが原因して刺戟が多い故に昔から猪食つた報いなどといはれてゐるやうに、おできなど治りかけたものが、この肉を食べたばかりに化膿することが多いから手術した後の出血した後は猪の肉は禁物です

おいしく食べるには薄く切つたものを、ざつと湯通いてから用ゐるとよい。そして鍋の中には大根を半月形または銀杏に切つて入れます。その他ねぎ白瀧などを入れます。

豚肉 は牛肉に比較すると、赤味の部分が少く殆と白色のものもあり、それだけ脂肪に富んでゐます。豚肉は牛肉に比してその價が一般に安いために、下等な肉類のやうに思はれてゐますが、これは豚の生産費が牛よりも安いから當然の結果であります。豚は生後満一年足らずで最良の肉となります。

馬肉 は多くは使役後屠殺したものですが、近年食用とする飼育が可なり殖えてきたことは事實です。肉は脂肪に乏しく、噴赤色を呈し、一種の臭味をもつてゐます

兎肉 は野獸肉として、我國に古くから食用に供されてゐるものです。肉の組成は他の獸肉にくらべて、脂肪分が乏しく、一種の臭氣がありますが、蛋白質に富んでゐます(醫博 腰者良知氏談)

變◇り◇め◇し

△鶏肉とグリンピースの御飯

材料(一人前) 米五合、鶏肉十匁、グリンピース二十位、醬油、味淋、紅生姜少々

作り方 鶏肉は薄く大切りとし、更にこれを細く棒に切ります。そして鍋に味淋、醬油を適宜に入れて煮立てその中へ鶏肉を入れてかきまぜ乍ら煮ます、火が通つたら下し、裏漉しにあけて煮汁を切ります。その煮汁に水を足して一合一勺位とし、釜に入れ、米を洗つてこの中に加へ、火にかけて普通に炊きます。ふき上つたら鶏肉とグリンピースを入れ、蓋をして十分蒸らし火を止めて更に十五分間おいてからよくかきまぜます

これを飯椀に入れて洋皿の上に抜き、紅生姜を細かい千分にして散らして食卓に出します。見た目に美大どしく味もよろしく、子供なへん喜びます

チントラタロウ

前本一夫 畫

固練白粉 經濟的使ひ方

化粧水で時々混ぜておく

▽▼……近頃は固練で化粧をなさる方が少くなつて参りましたが、それでも時折外出の際に丁寧に化粧をなさらなければならないやうな時、一度白粉を買つて次の時にはもうコチ〳〵になり使ひ物にならないといふやうな事がよくございます

▽▼……固練白粉は始終使つてゐても固くなり易く、日當りのよい部屋などに置くと殊更さうなりますから、なるべく日の當らない緣の下のやうなところに蓋つてお置きになるのがよく、時々化粧水を少し入れてやはらかく練り合せてお置きになるとよろしうございます(渡邊映子)

生際とカールの技巧

時と場所を考へて……の說

★……昔は〳〵髪のほつれ〳〵今はパーマネントのカール それとも言はれる位……

それだけにこのカールの技巧は……

★……又お仕事をなさる時とかスポーツの場合等はなるべく髪はピ……なんとも言はれぬ洗練美があるものです(美容院テルミーハウス)

米女學生に流行

石鹼美顔術

クリーム萬能は偏見

◎……近頃『私は石鹼を絶對に使ひません』と誇りのやうにしてゐる人が澤山ありますし、一般にも石鹼は肌に惡いものと思ひ込まれてしまつたやうな傾向がありますが、それは、とんでもない偏見です

◎……アメリカでは最近女學生間にソープ・クレジング・フエイシアル(石鹼美顔術)が大變歡迎されてゐるさうです、若い人はなんと言つても脂肪が多いのでクリーム許り使つてゐると、ニキビや吹出ものも出來、皮膚に抵抗力がなくなつて、温室育ちのやうな肌になり勝ちですから、ピクノ〳〵しないで石鹼をお使ひなさい。

◎……唯石鹼の質を選ぶことは何處までも大切です。

大つぴらにお洒落の許されない女學生方には、この石鹼美顔術をお薦めします。簡單で、垢抜けもし、目立たないでよろしいでせう

◎……最初蒸タオルで皮膚をゆるめてから柔い駱駝の毛ブラシに石鹼の泡だけつけて顔全體のやうにマッサージして、やはり蒸タオルで拭き取るだけです。あとは化粧水なりクリームなりをつけて置けばよろしい』マヤ美容室マヤ片岡氏)

當代一流 爭覇血戰譜 (29)

手合 先 ▲七段 小泉兼吉 ・ △七段 坂口允彦

第八局

圖は四八龍迄の局面

▽金打1 ▼毛銀打3 ▽同 龍2 ▼先打1 ▽同 玉6 ▼七七銀打14 ▽五三角打14 ▼四五歩打1 ▽同 角 ▼五三歩打2 ▽同 角成 ▼同 龍 ▽六七金打 ▼同銀成12 ▽同 玉 ▼六六歩打 ▽六六 32 ▼六七歩7 ▽同 龍6 ▼五六金打

消費時間 ▼五時間四十五分 ▽六時間四十五分

上手方苦心の一策

坂口七段同形の含み

觀戰記 双龍子

いさゝかも油斷し難い形勢で、いまだ前途ほど遠い感じがするにもかゝはらず、坂口七段の持時間は餘すところ一時間半これからは時間とも鬪はねばならぬ中は察すに餘りある

から激しいせり合ひになつては實に一手の緩急が全局、いや勝負に影響を及ぼすことは言をまたない。いつもこの邊で深く讀む時間のある坂口七段が僅か一分の考へは果々氣ない

× ×

これに對し小泉七段少考―と見る間もあらせず五七銀の打ッちやり

作戰は? と見れば、敵龍が五一に居ては三二角と打ち捨てられ自玉に即詰めの恐れがあるのだ、そこで銀を捨て危險を脫した工作

席上揷話

〃坂口〃 六五角打ちのところは二銀打ちの急戰模樣を考へました、しかし同歩、三一金、同玉八六角、同銀、七八金でせうが、あまり敵に駒を渡すとは危險です

〃小泉〃 八六歩打ちは、直ちに八九角と打つとすると同玉で指し過ぎと思ひました

講評

八段 金 易二郎

は謂ば苦肉の一策

× ×

坂口七段は敵の七九銀以下苦心必死の應酬に對し、六五の角打ち以下その角を犠牲にして敵龍を退却せしめた作戰は已むを得ない防手であらう

これは循も小泉七段のそれと同形作戰

こゝで直ちに七八金打ちと防いでは五七龍、同金、六八金、同金八九飛と打たれ自玉が即詰みである

小泉七段は飽くまで攻め切らうとの本局不來の根幹に則り苦心惨澹八六歩打ちを見出したのは巧みなものである

坂口君はこの歩に對しては横を向いてはゐられまい、即ち八七歩成、同玉、八六歩、同玉、八五歩同玉、七四金打ち以下即詰みである、また、八六同歩と取つては今度は八九角、同玉、七七金のとき如何に六八龍と使いでも、八七金と打たれ必至の鐵鎖をかけられてしまふのである

そこで六六歩と突き龍の横面を通しての防ぎは當然である

虚弱な兒童にハリバが良い！

冬の病氣

に對する保健劑として、肝油ほど効果的なものは稀で、今や全國到るところ肝油の服用が奬勵され、病氣缺勤兒童を減少する上から非常な好成績を見て居ります。これは獨り日本だけでなく、洋の東西を通じて豫防醫學の發達した文明國ではその家庭で盛んに肝油が用ひられ、病弱者、特に寒冒や呼吸器病、肺門淋巴腺腫脹、有熱兒などの罹患者を減少する意味から大いに貢献して居ります。

かぜを引かなくなる！

肝油を服んでヴイタミンＡＤが體內に豐富に蓄積されると鼻、のど、氣管支、肺など粘膜の防壁が强化されて、寒冒菌や肺炎菌、結核菌などが附着してもすぐこれを洗除し、組織內に喰入る餘地を與へなくなるものです。それと反對にこのヴイタミンＡＤが缺乏すると、呼吸粘膜の分泌が減り、カサ〳〵に乾き、たゞれ、病菌が附着すると、すぐ絶好の培養所となり、感染し易くなるのです。

凍傷に罹らなくなる！

毎年冬になると、皮膚が乾燥してに荒れ、たゞれ易くなるのもヴイタミンＡＤの不足から來るといふことが判りました、かやうな人が、早くから肝油を服用すると、冬になつても皮膚の防壁が堅くて荒れない、凍傷やひゞに惱まされないで濟む……ことは、多くの人々の實驗が明示して居るところです。

缺勤率が少なくなる！

冬の病氣缺席は、たいてい、『かぜ引き』です。寒冒豫防に肝油が効果的なことは、多くの人の報告があります。かぜが始まりて、肺炎、結核、腎臟……などを侵され易いものですが、平素丈夫な內に肝油を與へて體內にヴイタミンＡＤを充分に蓄積して置くことは、豫防醫學の見地から重要なことです。

量より…質へ

肝油の『油』が効くのでなく……その中に少量に含まれて居る『ヴイタミンＡとＤ』とが効くといふことが判りました。

その結果、肝油の効力が最近に及び再認識されるに到り、ヴイタミンＡＤ含量の稀い肝油を多量に用ひるよりは、含量の濃い『質の良い』肝油を少量用ひる時代となりました。

一粒肝油ハリバは、この時代の要求にピッタリ合致した現代的の製品で……腥さい量の多い肝油に代つて『ハリバの時代』を現出しましたが、それは、これまでの肝油に比らべ……

❶ **百倍以上もの**……大量ヴイタミンＡＤを、天然自然に濃厚に含有する。聖魚肝油その他の極めて高級な肝油を給源として居り……

❷ **毎粒一盃の**……肝油に相當するやう、効力に不同がないやう、ヴイタミンＡＤ力價を、精巧な設備と正確な科學的方法とで測定してあり……

❸ **糖衣の小粒**……未だ、他に類例を見ない、專賣特許の方法で、天然の油塊のまゝ硬い糖衣で密閉した、內柔外硬の糖衣小粒となつてをり……

❹ **樂々と服める**……惡臭がなく、微量で大量の肝油と同一に効き、服用し易く、醫藥兩界から多大の賞讃と支持とを博して居ります。

兒童のみでなく……呼吸器の弱い人、かぜを引き易い人、お産の前後（母兒の保健劑として）……にも廣く賞用されます。

百粒（幼兒三ケ月分 大人一ケ月分）……一圓五十錢
五百粒十圓五十錢
藥店にあり

HV 339

Patented Haliva

TANABE & Co., Ltd. TOKYO

東京市日本橋區本町二丁目 株式會社 田邊元三郎商店
大阪市東區道修町三丁目 株式會社 田邊五兵衛商店